



つなかり



「親子で楽しもう！夏編」

8月9日（土）、10日（日）に「親子で楽しもう！夏編」が行われました。親子16組34名が参加し、大洲の豊かな自然の中でカヌーをしたり、サバイバル飯作りをしたりして、親子の絆を深めました。

1日目



【かっこよく歩こう！親子で姿勢改善】

かっこよく歩くポイントを教えていただき、歩き方の練習です。足腰も鍛えました。



【川で遊ぼう！カヌー体験】

天気に恵まれ、暑すぎず、寒すぎず、過ごしやすい中でのカヌーでした。みなさん上達が早く、気持ちよさそうに漕いでいました。



【火をかこもう！キャンドルサービス】

火の神から「火のありがたみ」について話を聞いたり、みんなでレクリエーションを楽しんだりしました。白熱！親子でじゃんけん対決！

2日目



火を起こそう！サバ飯作り体験

サバ飯？魚のサバのご飯？いえいえ、サバイバル飯です。空き缶2つでお米を炊きます。上の段にはお米と水を、下の段には牛乳パックを細く切ったものを燃料として入れて焚き上げます。



【大人もつながろう！】 【みんなで遊ぼう！】

この時間は、親子別々の活動です。

大人は、子育てについて、グループでトークやワークをしました。互いに悩みや喜びを分かち合い、充実した時間になりました。

子どもは、体育館で思いっきり体を動かしました。ニュースポーツのキンボールで大盛り上がりでした！

参加者の声

【大人】

- 最初は難しかったカヌーも、親より子どもの方がすすい進めるようになり、いろいろな面で子どもの成長を感じることができました。また、親としても、子どもと長く時間を過ごしたり、ワークで我が子のことを見つめ直したりすることで、改めて子どものことを深く知る機会が持てました。火を起こす体験では、防災の観点からも非常に役立つ知識を教えてもらいました。
- うまくいかない投げやりになることもある我が子でしたが、カヌーでは、初めはうまくいかなかったけど、コツをつかもうと頑張ってやりきり、自分から感想発表もできました。キャンドルサービスを通して、火の大切さと怖さを教えていただき、便利な調理器具が当たり前にある毎日の中で、サバ飯作りは貴重な経験になりました。親のみのグループワークを通して、自分の対応の仕方や考え方を見直すきっかけとなりました。子どもも大人も楽しめることがたくさんで、充実した2日間になりました。ありがとうございました♪
- 全ての体験が楽しくて、とてもためになる内容で一つ一つ内容の濃い充実した時間を過ごすことができました。どの体験も親の方が本気になって楽しんでしまいましたが、そのような雰囲気づくりで、楽しませてくださったスタッフのみなさん、本当にありがとうございました。

【子ども】

- カヌー体験と火おこし体験、サバイバル飯作り、お父さんと一緒にふとんを上げたり下ろしたりしたこと、お風呂に1人で入ったこと、どれも心に残る思い出になりました。
- カヌーをするのは最初不安だったし、うまくできなかったけど、だんだん上手にこげるようになったのでよかったです。サバイバル飯作りで、火を燃やし続けるのがすごく大変でした。今まで作ったご飯で一番時間がかかりました。ご飯は少しかたかったけど、自分で作ったからすごくおいしかったです。マグネシウムの火おこしができるようになったので、今度キャンプに行く時に使ってみます。新しい友達ができてうれしかったし、楽しくてもっと遊びたかったです。
- 全部が楽しかったです。特にカヌーが楽しかったです。ピラミッドじゃんけんも楽しかったです。ゴールまでたどり着くことができたし、子どもチームが勝ったからです。キンボールでも知らないみんなと楽しめました。勉強になったことは、サバ飯です。理由は、何かあったときに、簡単だからこれをやってみたらいいなと思ったからです。